

学群入学生アンケート調査結果 (令和3年度)

教育推進部教育機構支援課

1. 調査結果の概要

(1) 調査目的と方法

本学の学士課程教育に対する入学者の期待や志望動機を把握すること等を目的として、令和3年度から学群入学生に対するアンケート調査を開始した。

調査はTWINSアンケート機能（記名式）を用いたWEB回答方式とし、4月の入学生オリエンテーションや、TWINS掲示板で協力を依頼した。

設問内容は、平成20年度から実施している大学院入学生アンケートの設問項目を参考にしつつ、志望動機や入学後の学修に対する意欲等を聞く内容としている。また、入学時点と卒業時点の比較ができるよう、学群卒業生アンケートの項目と対応を意識した。

(2) 回答率

今回調査の対象者数・回答者数・回答率は以下のとおりである。

対象者： 2,247名

回答者： 1,322名

回答率： 58.8%

1. 調査結果の概要

(3) 全体の傾向

本学の志望理由については、「自分の希望する分野があるから」を選択した学生が57.8%で最も多く、次いで「多様な分野があり幅広い知識や専門を学べるから」が49.7%だった。志望決定にあたって学問分野が重要であることが伺える。

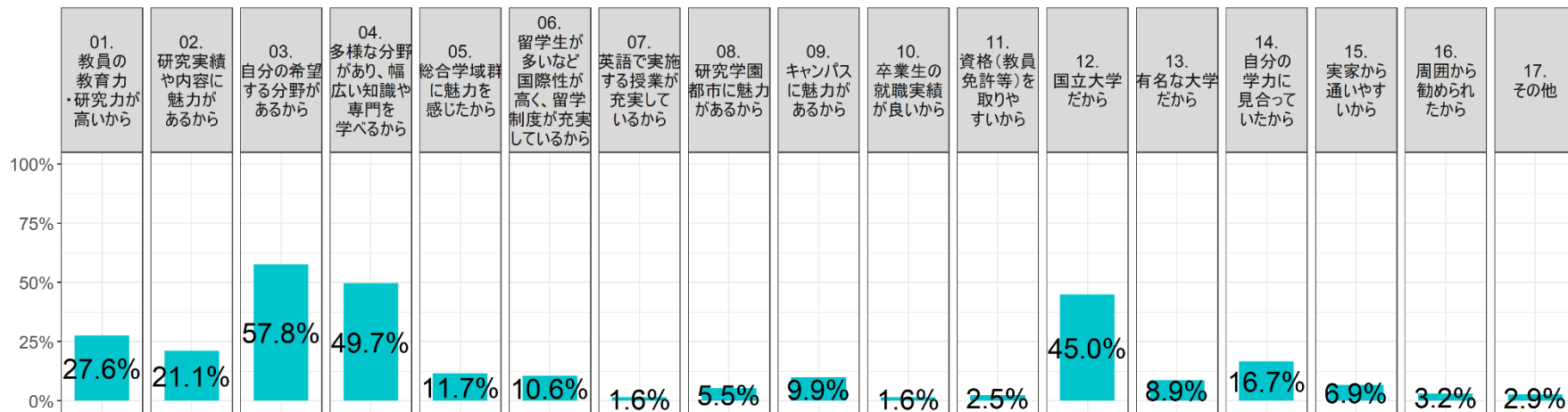
大学生活における重要度を聞いた設問では、「非常に重要」または「重要」と回答した学生の割合が特に多かった項目は、「自分自身で学修・研究できる環境」(94.0%)、「教育施設・設備・機器等」(93.5%)、「教員の教育力」(92.4%)、「学生食堂、書籍部などの学生の厚生環境」(92.6%)、「学内の生活環境」(93.7%)であった。

次ページ以降では、設問ごとの集計結果のグラフを掲載する。

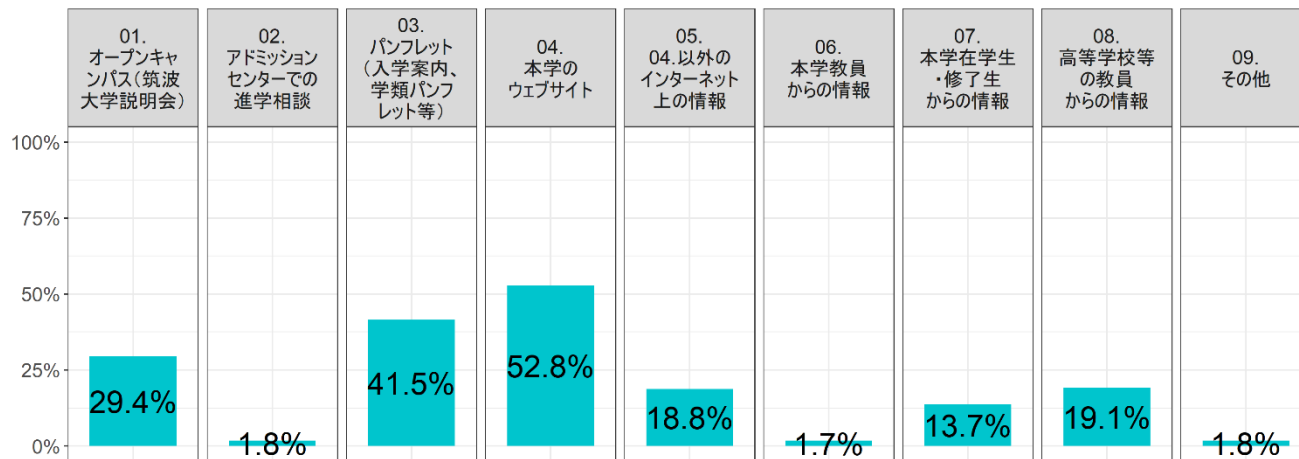
2. 設問別調査結果

(1) 志望理由、志望決定に役立った情報源

本学を希望した理由としてあてはまる項目(複数選択可)

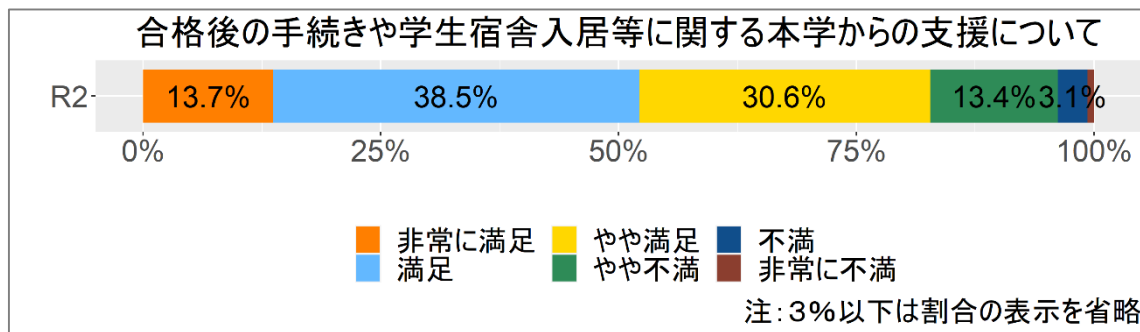
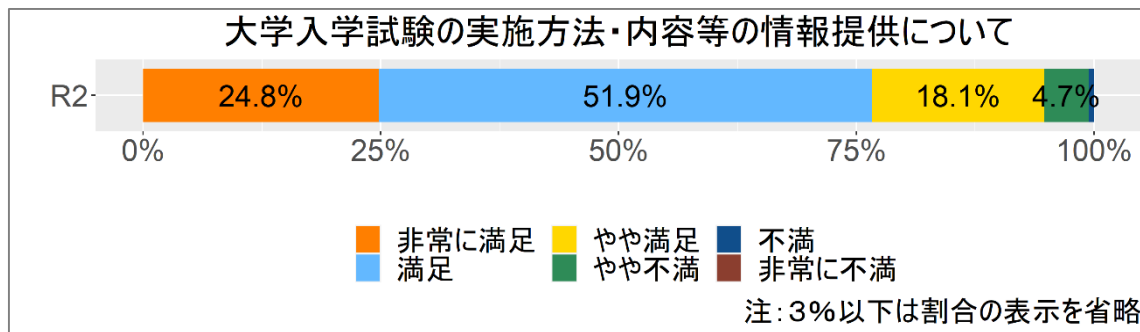
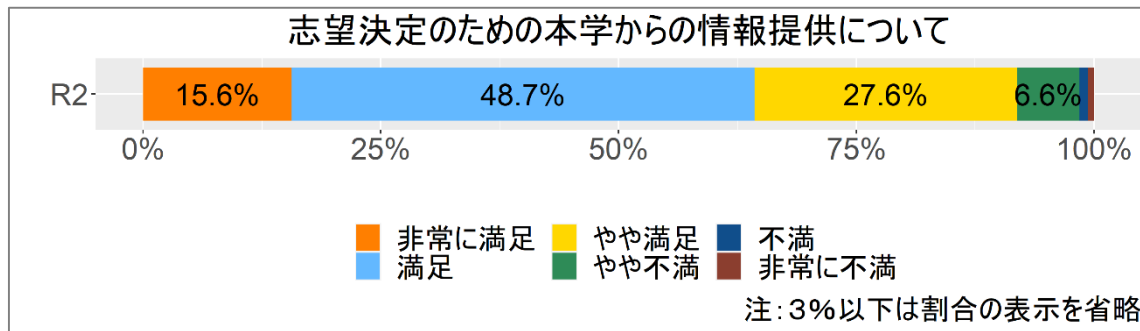


本学への志望を決める上で最も役立った情報源(複数選択可)



2. 設問別調査結果

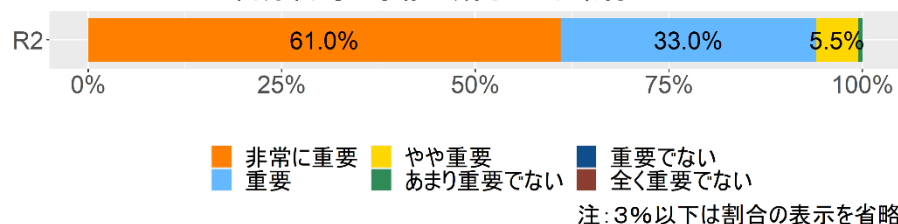
(2) 入学までの情報提供等についての満足度



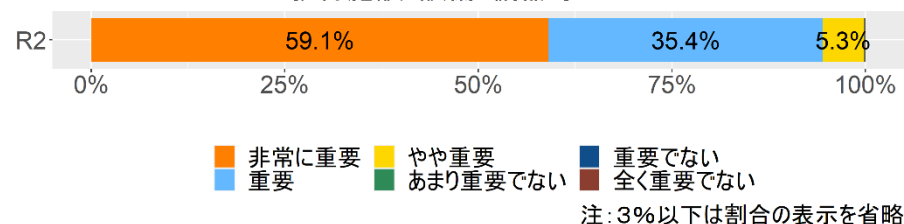
2. 設問別調査結果

(3) 大学生活における重要度 (①学修・研究環境について)

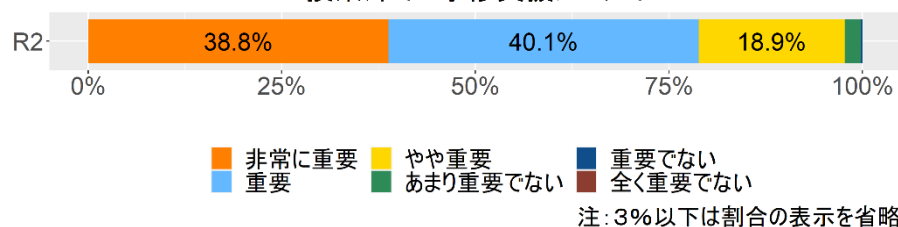
自分自身で学修・研究できる環境について



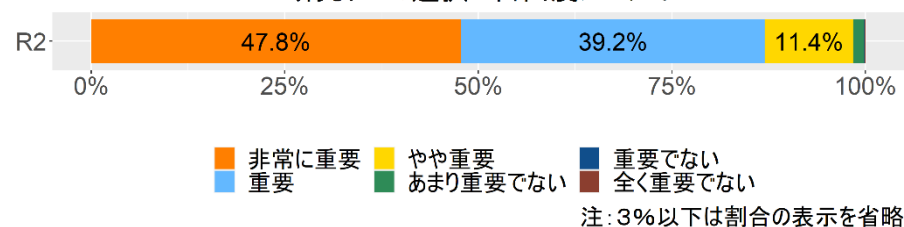
教育施設・設備・機器等について



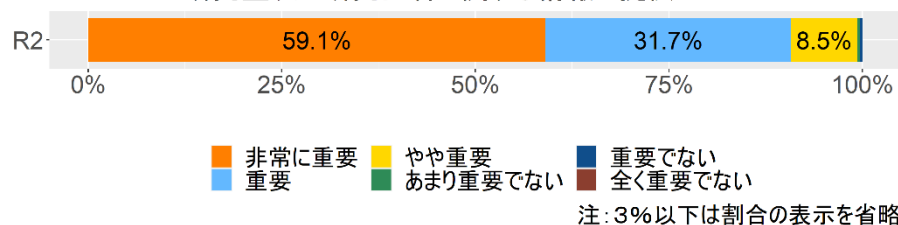
授業外での学修支援について



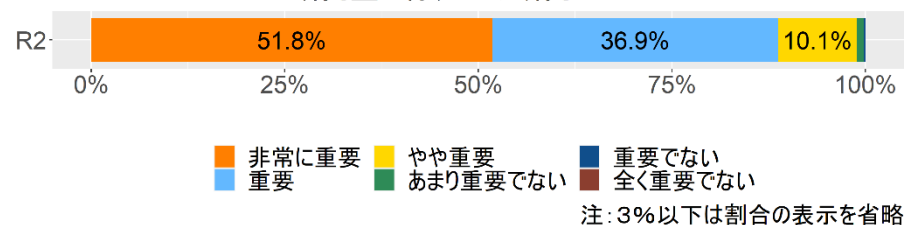
研究テーマ選択の自由度について



研究室及び研究内容に関する情報の提供について

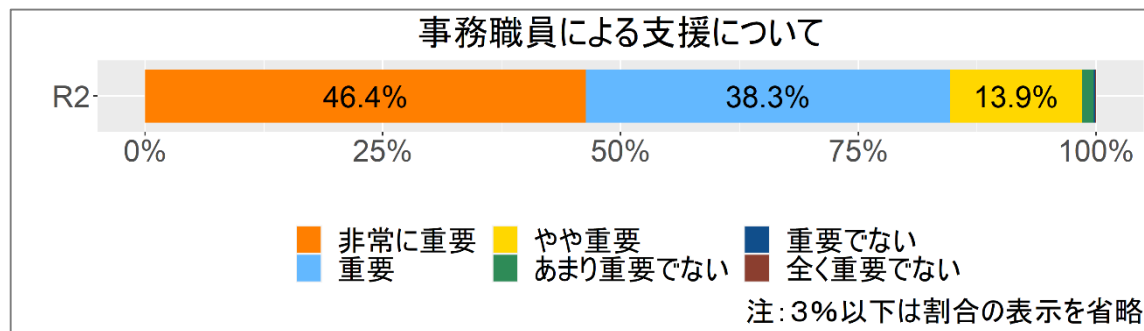
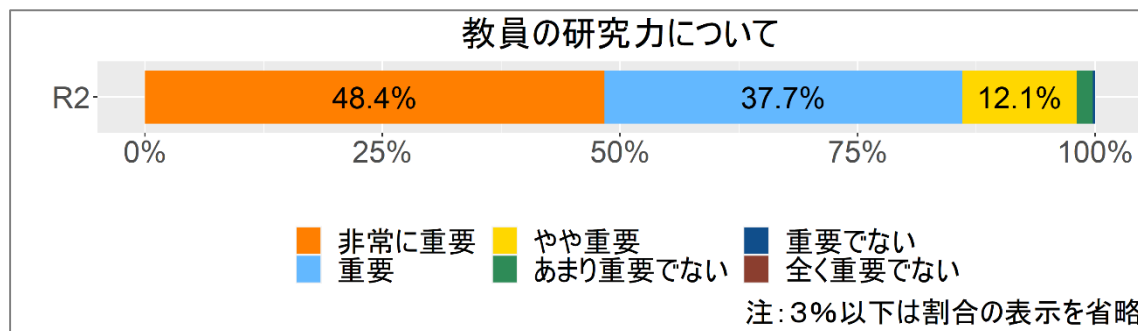
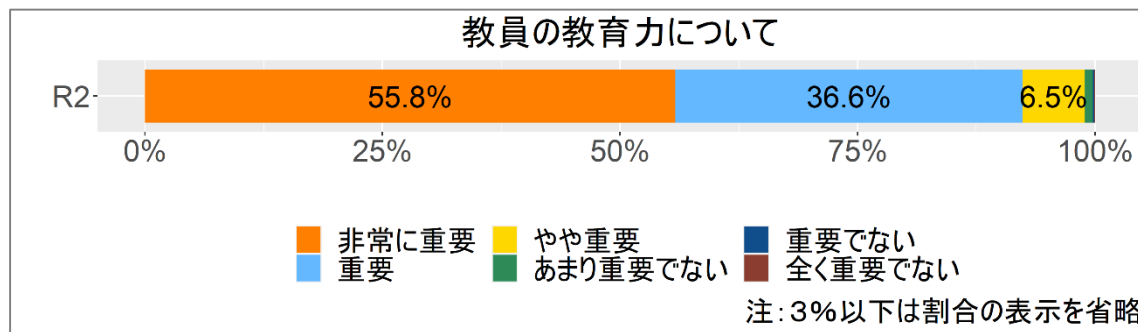


研究室で行うゼミや研究について



2. 設問別調査結果

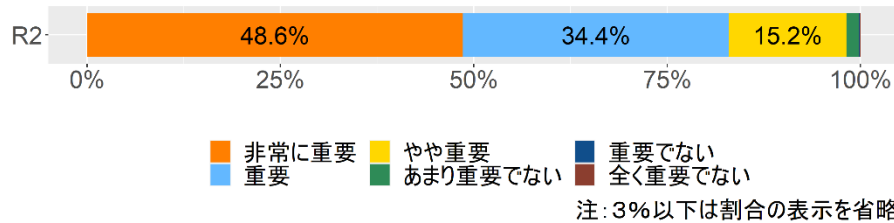
(3) 大学生活における重要度 (②教職員について)



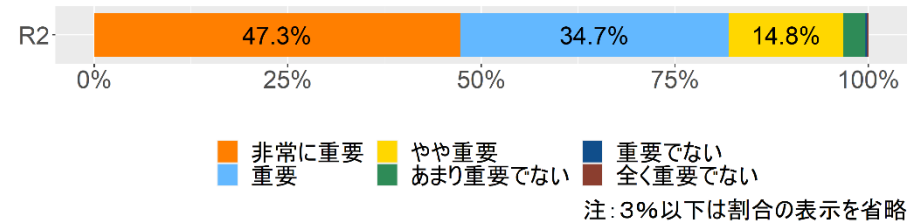
2. 設問別調査結果

(3) 大学生活における重要度 (③福利・厚生について)

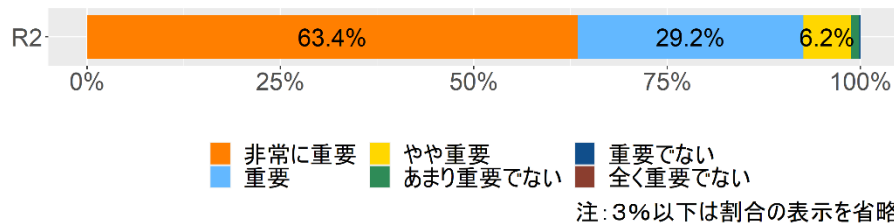
学生が利用できる医療施設(保険管理センター)について



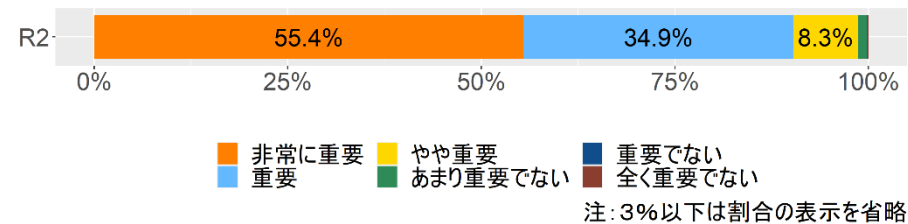
学生相談、セクハラ相談など相談できる環境について



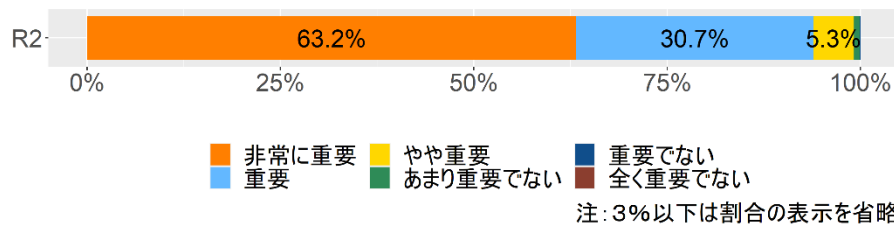
学生食堂、書籍部などの学生の厚生環境について



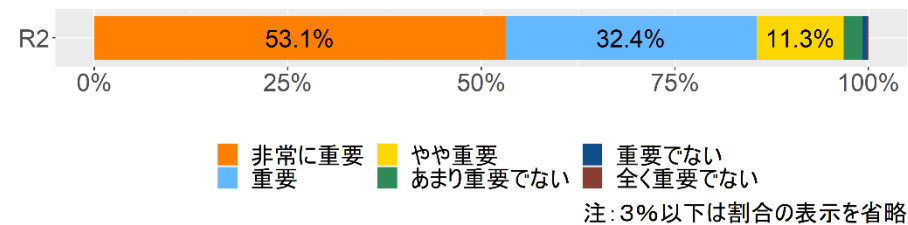
本学からの大学生活に対する支援について



学内の生活環境について

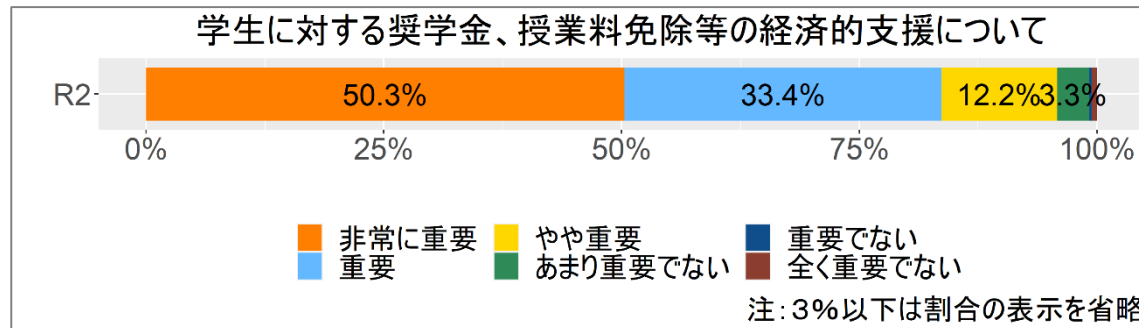
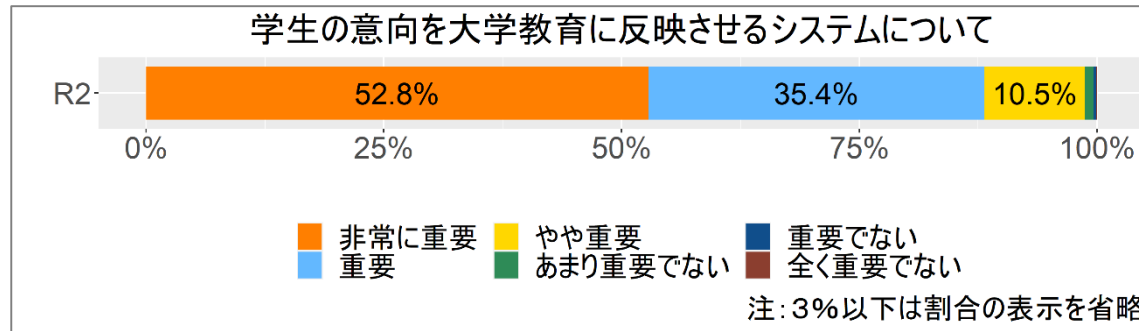


本学による就職支援について



2. 設問別調査結果

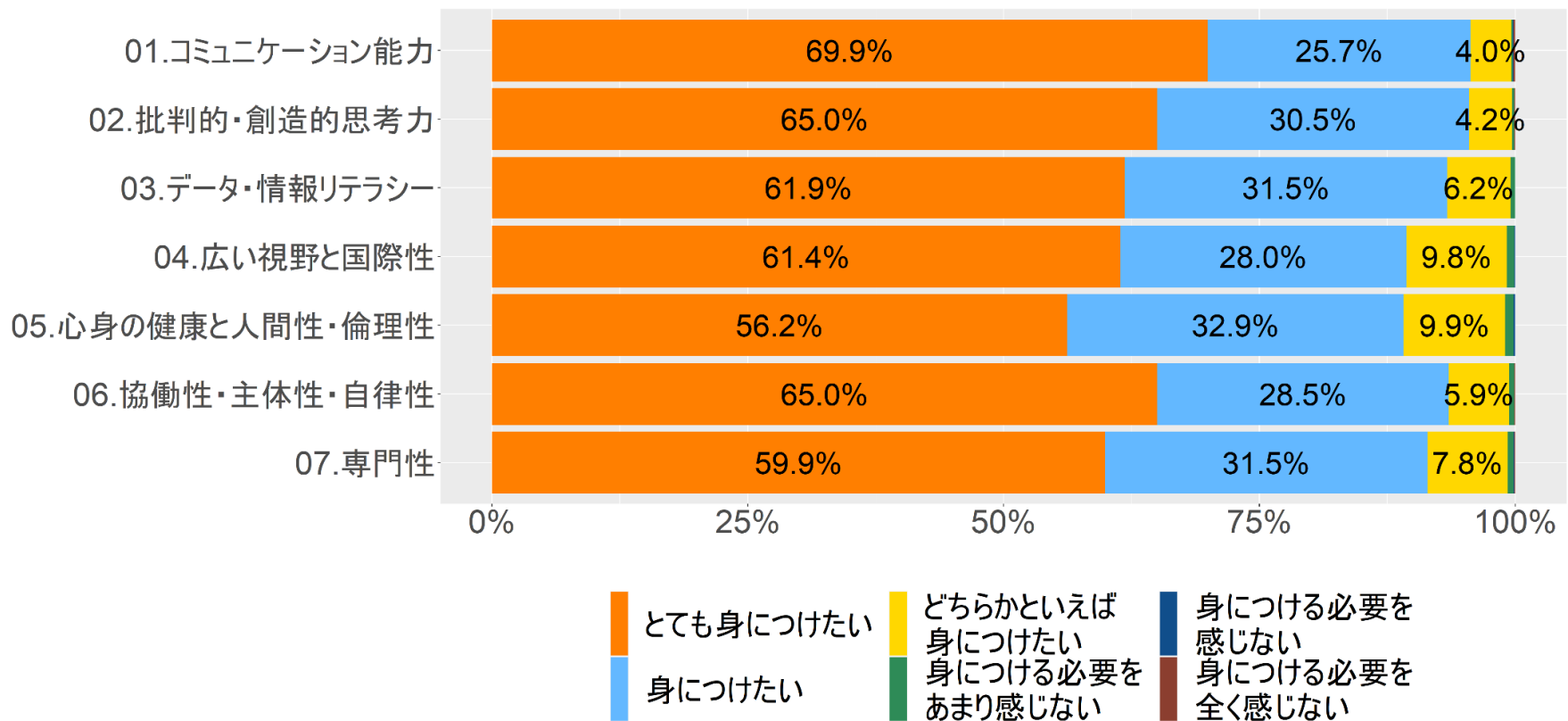
(3) 大学生活における重要度 (④大学全体について)



2. 設問別調査結果

(4) 本学での学修に対する意欲について

学士課程を通して、以下の項目をどの程度身につけたいと考えますか



注: 3%以下は割合の表示を省略

2. 設問別調査結果

(4) 本学での学修に対する意欲について

